

## 会議録

三豊市附属機関等の会議の公開に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名称 三豊市特別職報酬等審議会

日時 平成23年2月21日(月)午後1時30分～午後2時25分

場所 三豊市役所4階第2委員会室

出席者 【三豊市特別職報酬等審議会委員】

石川 博、石川 叔子、植岡 澤江、豊島 芳徳、新延 修、林 茂樹、  
前田 昭文、宮川 正夫、三宅 倫子 (敬称略・五十音順)

【事務局関係職員】

総務部長 小野 英樹、 総務部人事課長事務取扱 総務部次長 片桐正文、  
議会事務局 岸本課長、総務部人事課 芳地

欠席者 【三豊市特別職報酬等審議会委員】菅 徹夫

傍聴者 4名

- 会議次第
1. 会長あいさつ
  2. 審議1(政務調査費の額について)
  3. 審議2(議員報酬額について)
  4. 審議3(市長、副市長及び教育長の給料の額について)
  5. その他

会議概要及び発言要旨	
1. 会長あいさつ	
会長	<p>どうも皆さんこんにちは。</p> <p>本日はお忙しい中、三豊市特別職報酬等審議会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>1月20日に開催いたしました本審議会では、議員報酬額、政務調査費の額、市長を始めとする三役の給与額について審議し、委員皆様方より忌憚なき意見をいただき、本審議会での審議事項についての意見方向性が得られたと思っています。</p> <p>今回の審議会では、その出された意見を基に、では具体的にどうしていくのかといった意見を述べていただき、本審議会の答申結果の素案に至るまで審議したいと考えております。</p> <p>どうか今回も委員皆様方におかれましては、市民目線で捉えた意見を忌憚無くご発言いただけたらと思います。宜しくお願いいたします。</p>
2. 会議の公開に関する事項についての確認	
会長	<p>議事の前に、会議の公開に関する事項について委員皆様方へ確認いたします。</p> <p>前回審議会において、次回審議会でも公開とお諮りをさせていただき、了承を得ておりますが、今回開会にあたり再度確認いたします。</p> <p>本日開催の本審議会を「三豊市・附属機関等の会議の公開に関する指針」に基づき、公開したいと思いますと思いますが構いませんか。</p> <p>(委員了承)</p> <p>ありがとうございます。</p>

	<p>では、委員皆様方の了承を得ましたので、本審議会も公開いたします。</p> <p>また、「会議の公開に関する指針第9条」の会議資料の提供についてですが、前回同様に「三豊市情報公開条例第7条各号」に該当しない会議資料については、傍聴者に提供するものとなっておりますので、今回の資料につきましては傍聴者の方々へお配りしておりますので、その点ご了承ください。</p>
3. 委員出席状況の確認	
会長	<p>では、次に委員出席状況の確認をいたします。</p> <p>本日の委員出席状況の確認をいたします。事務局より報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日開会にあたりましては9名の委員さんに出席していただいております。審議会条例第5条第2項に規定されております委員過半数以上の出席により、会議が成立することを報告いたします。</p>
会長	<p>了解しました。ただいま事務局から報告がありましたが、委員過半数以上の出席がありますので、本審議会は成立する事を報告いたします。</p>
4. 審議 1 (政務調査費の額について)	
会長	<p>ではただ今から審議を行います。委員皆様方へ意見を伺う前に、今回も配布資料について、事務局に概要説明を求めます。宜しくお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;事務局から資料説明&gt;</p>
会長	<p>ただいま事務局より、今回配布しております資料の説明がありましたが、委員皆様へは資料とは別に確認の意味で前回審議会会議録を事前にお渡ししていると思います。</p> <p>事前に目を通していただいていると思いますので、それら意見も踏まえたうえ、今回も前回審議した順番で審議を進めてまいりたいと思います。</p> <p>今回の審議会では、最初にお話しましたよう、ある程度の答申素案を出したいと考えておりますので委員皆様方より意見をいただき、意見を集約し、この場で再度皆様へお諮りしたいと考えております、宜しくお願いします。</p> <p>まず「政務調査費の額について」委員皆様の意見を求めます。今回も委員順番で意見を伺いたいと思います。</p> <p>ではご意見お願いします。</p>
委員	<p>前回の審議でも意見がありましたが、実際に使われている状況が約30%であり、それを踏まえて、他の委員より約20%あたりの減額でどうかという意見がありましたが、私もこの辺りが妥当かなというのが私の意見です。</p>
委員	<p>まだ充分理解できておりませんが、皆さんの意見と同じにさせていただけたらと思います。</p>
委員	<p>前日も意見を申し上げた訳ですが、1月20日で開催した審議会での資料4・政務調査</p>

	<p>費収支・使途状況での平成18年度から21年度までの使途状況、実際に使用されている額について、議員全員の中では全然使用されていない議員さんも一人ほど居られますが、その使用された議員さん一人あたりの使用報告額を見ると、平成21年度では平均約25万6千円ということで、支給上限額36万円に対しまして大体71%という状況であります。</p> <p>それと平成18年度から21年度までの残余额と戻入額の割合ですが、これを見ますと平均するとだいたい16%ぐらいとなりますので、平成21年度では30%は使用されておらず、この間を取って20%ぐらいを減額とし、現行額で言えば一人当たり月額3万円を2万4千円になろうかと思いますが、そのようなふうに20%程度減額をするのが妥当ではないかと考えております、以上です。</p>
委員	<p>平成18年度から21年度の使途状況や、また約71%の使用率とお伺い致しましたので、やはり私も2割ぐらい減額して宜しいかと思えます。</p>
委員	<p>先程来からそれぞれの方のご意見をお伺いさせていただきましたけれども、私も、先だって皆様のお話を総合的に纏めたような形になっておりますけど、やはり政務調査費はぜひ必要でございます。しかし実状に応じて、現在70%ぐらいしか使っていない点から考えますと、やはり委員皆様がおっしゃったように、大体こう20%ぐらいカットしたら良いのではないかなという感じを持っております。</p>
委員	<p>前回の資料を見てまいりますと、議員さんの中でも、政務調査費を廃止したらという意見を持っている議員が5名か6名かいるという事で、もう少し減額して、20から25%ぐらいの減額をお願いしたらという意見を持っております。以上です。</p>
委員	<p>私も皆様と同じ意見です。使っていない方がいるという事と、残余额もある方がいるという事で、2割ないし3割カットが妥当でないかなと思っております。</p>
委員	<p>調査費について、本来ならば全部使って調査をしていただきたいのは本筋ですけど、過去4年間等の状況を見ても、今、皆さん方が言ったように、使う人は使い切って、限度額以上に使っている方も中にはいるとお聞きしておりますが、相対的に見るとやはり7割ぐらいしか使っていないという事もありますので、そこら辺りが評価的にするというと、これらを基準に考えていかななくてはならないと思う気もいたしますので、ある程度減額をしなくてはいけないのかなという気がします。パーセンテージについてはちょっとこれ、どこまでがどうなのかという事もありますけれど、30%以内となると、皆様と言われる20%ぐらいが妥当ではないかなというのが考えです。以上です。</p>
会長	<p>ただ今皆様方から順番に意見をいただいた訳ですが、他に意見はございませんか。</p> <p>では、ここで意見を集約し、政務調査費の額について本審議会見解をまとめたいと思います。</p> <p>殆どの委員の方が同じような意見でしたので、どうでしょうか、政務調査費の額については20%削減でいくと、この審議会の意見集約としては20%削減ということで答申す</p>

<p>会長</p>	<p>るという事で宜しいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜委員了承＞</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>審議 1、政務調査費の額については以上のように纏めたいと思います。</p>
<p>5. 審議 2 (議員報酬額について)</p>	
<p>会長</p>	<p>では続きまして、議員報酬額について審議を行いたいと思います。</p> <p>これも委員順番で意見をお伺いして纏めたいと思います。先程と順番を逆にいたします、ご意見をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>この議員報酬について、巷では高いとかいう意見も相当聞き及んでおりますけど、議員の本当の活動内容から見ると、評価はしにくいのではないかと私も思っております。</p> <p>どこをもって査定をしたら良いのかといった事で悩んでおりますけど、高いか安いかの違いの差というのがちょっと出てきにくいので、一般職員の方の給与状況を聞いてみますと、毎年こう下がっている状態であると聞いておりますけど、議員の方々にも増額といった事には相成らないと思っておりますけど、据え置きにするか、自主減額していただくかというのが本来私の気持ちとしては持っております。</p> <p>これはまた幾分かでも差を、減額の率を出さなくてはいけないのかなとも思うし、少し戸惑いがあるような気持ちです。</p>
<p>委員</p>	<p>私の個人的な意見でございますけれども、やはりこう民間の企業については随分と近年、全体で下がっている現状ではないかと思っておりますが、その現状を踏まえてと言うと、多少とも減額もやむを得ないという感じは持っております。</p>
<p>委員</p>	<p>議員の報酬ということで、今民間企業の所得と言いますか、年収 350 万円の時代が来るのではないかと報道とか噂がされておりますが、経済的には国内を始めまして、三豊市内も県内も今のところ景気も停滞して生活するのに苦しいという色々な声も聞かれますが、そのようななかで、議員さんの報酬についても何パーセントかのカットをお願いできたらいいのではないかというのが私個人の意見でありますけど、そのような気がします。</p> <p>カットのパーセンテージにつきましては、5%か7%ぐらいのカットが出来ても良いのではないかという気がしています。そういう事でお願いしたらと思います、以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>一般市民的な観点で考えますと、高いという声が出そうな感じはいたしますが、やはりこう他市の状況も考えた時に、三豊市が別に高い安いという訳でも無いので、とにかく議員報酬は多少カットしても良いかなという感じもしておりますけれども、あまりカットしてもどうなのかなと、やはり議員さんには勉強していただいて、市民は頼りにしておりますので、現状で良いのではないかなという感じを私自身は持っております。</p>
<p>委員</p>	<p>議員報酬につきましては、自主減額を一度していただいて、それを参考というかヒントに、何パーセントぐらいかはカットしても宜しいのではないかと思っております。</p> <p>他市の状況も参考にカットしたら良いのではないかと思います。以上です。</p>

<p>委員</p>	<p>これも資料を参考にしている形になるのですが、前回審議会資料3・県内各市の特別職の報酬等についての資料を手渡されておりますが、この状況を見ますと、議員の報酬はこれから見たら高いとは思いませんけど、県下では最低の方ではないかという気がしますが、一般的に見たら、市民の状況等であたってみますと、一般の人は他市の状況を知らないかも分かりませんが、特に若年層の方々の考えなんかは議員さんの報酬は高いのではないかという意見もかなり聞いております。そういった状況から、減額するのも気の毒な気もしますが、一般的な市民目線から見ると高いという事も有り得るし、自主減額を希望したいという思いも私ももちろん持っておりますが、自主減額と言ってもなかなか何パーセントしたらいいのかと議員さんも悩むのではないかという気もしますし、自主減額するにしてもある程度のパーセンテージはこちらから示しても良いのではないかという感じもします。</p> <p>あと、審議3番にあります、市長、副市長、教育長の給料も後から出てきますが、そこから辺りが出ますと、例え自主減額にしたってこのぐらいの、最低このぐらいのパーセントでどうでしょうかということも考えられると思います。</p> <p>全体的に見ますと、この期末勤勉手当の計算とか、役職加算率とかいうふうな、期末手当の率なんかは3.05が昨年度議会で2.95になっている訳ですけど、それから役職加算率の20%は動いておりませんので、こちら辺りを見ますと、ある程度の自主減額を希望したいと思っております。以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>前回の会の時、政務調査費については議員の中にも要らないという意見もあるという事を聞き、議員さんもそれぞれと自分で考えて、色々とお金のやり繰りをしているのだなと思いました。</p> <p>できれば、私はこのままで良いのではないかと思いますけど。</p>
<p>委員</p>	<p>他市との比較もありますが、経済状況も勘案しまして、それと三豊市職員の皆さんも毎年減額となっている状況になっているのでは無いかと思います。歩調を合わせて、その程度の減額を自主的に行っていただければ有難いと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>非常に難しい問題ですが、前回の時も自主減額と願えたらいいのだけど、自主減額では当事者も判断もつきにくく、最近では高松市が答申を出されたものの議会が異議を唱えるといった事もあるようですので、色々な意見が出た訳ですけど、今回もやはりなかなかこう、人様の懐具合に係る事ですので委員の皆様も発言しにくいと思いますが、他の委員の発言にもございましたけど、三役の給料審議にも係る問題でもございます、大体の意見としては何パーセントか、そんなに大きいパーセントでは無い額を減額するといった、少ないパーセンテージで。少ないパーセントと言ったら何パーセントだと言われるのですが、3%未満のところかどうかというのを委員皆様が言われているのかと思いますけど。</p> <p>この纏めについては、三役給料額審議の後にした方が宜しいでしょうか、取り纏めとしては3%ぐらいの減額でいくという事で宜しいか、据え置き、5から7%カットという意見もあります。</p>

委員	3番審議、三役給料額と照らし合わせながら検討してはどうでしょうか。
会長	それでは、いくらかは減額になりそうだという認識で、3番審議、三役給料額について一挙に審議したいと思います。
6. 審議3 (市長、副市長及び教育長の給料の額について)	
会長	では続きまして、市長、副市長及び教育長の給料額について審議を行いたいと思います。 これも委員順番で意見を、ご発言を願えたらと思います。
委員	これは私の意見なのですが、給料額につきましては据え置きで良いのではないかと考えております。ただ諸手当のですね、役職加算率の20%加算とかが疑問に思っておりますので、こちらのほうが5%ぐらいでも減額になればと考えておりますが。
会長	はい。ただ、各種率、退職金の率等は団体で事務されており、この辺りの数値は我々だけでは決められない。下げるのであれば、本審議会では本筋の方、給料額等で下げていきたいとは考えている。
委員	分かりました。それなら職員の方達が下がっている状況と併せて下げていただけたらと思います。
委員	私も減額で、5、4、3%とかいう率で。
会長	それは市長5%、4%、3%という事ですね。
委員	意見だけですけど。その程度の率で。
会長	分かりました。
委員	これも資料の中にも出ておりますが、市長、副市長、教育長につきましては議員さんと状況も違うような感じもいたしますので、ある程度の減額はして貰った方がいい気がする訳ですが、こう8市の状況等が全部出ている訳ですが、この状況を見ても三豊市があんまり安いとは考えられないので、いろいろこう、当然実績なんかも求められるのですが、自主減額を求めたいのもやまやまなんですけど、では何パーセントしたら良いのかという話になろうかと思っておりますので、ある程度の減額率を示すのを希望しております。 何故かという話になってくるであろうと思いますが、先程事務局から説明もありましたが、中期財政計画がありますが、この内容等を見ますと、平成18年度から平成27年度までの10年間の歳入歳出状況が示されておりますが、これを見ると今からずっと、国、県の交付金等も減ってくる状況でありますし、市税等も恐らく収入減となってくることと思っております。そうなってくると一番に削減しなくてはならないのが人件費という事にな

	<p>ってきますし、職員も給料が8等級制から6等級制になり、ある程度の頭打ちとなっておりますし、そういった状況から見ますと、合併当初からずっと続いております市長、副市長、教育長の給料額についても減額は差し支えないと考えております。</p> <p>新聞等では出ておりますが、高松市では市長、副市長とも自主減額をしており、市長5%、副市長4%、教育長はちょっと新聞に出ておりませんでした。三豊市においても先程意見がありましたように、5、4、3%での減額を希望したいと思います。以上です。</p>
委員	<p>県内各市の特別職の報酬等についての資料を見せていただくと、三豊市は8市のうちで市長は4位、副市長、教育長は3位ですね。私もちょっとこう、減額していただけたらと思うのですが、職員の減額に合わせていただけたらと思います。</p> <p>先程お話がありました、市長5%、副市長4%、教育長3%、この辺りが宜しいのではないかと思います。</p>
委員	<p>市長が範を示して自主減額が望みたいのですが、なかなか難しいかと思います。今までの意見でありましたよう、やはり他市の状況も見合わせながら、市長5%、副市長4%、教育長3%の割合が妥当ではないかと感じますので、その辺ご検討いただけたらと思います。以上です。</p>
委員	<p>今、他の委員の方が言っていた意見と同じで、私も率としては、5、4、3の率で減額をお願いできたらという意見です。以上です。</p>
委員	<p>例えば坂出市なんかを見ると、当選公約としてですが市長20%、副市長10%の減額、観音寺市なんかも10%減額ですよ、こういう風にやっぱり首長関係の方はかなり減額となっている状況がたくさんありますので、ある程度減額の方で良いのではないかと考えております。</p>
委員	<p>三役についても本来自主減額という事が好ましいのではないかと思います。他の委員の方がお話をされたよう、なかなか自主減額と言っても決められないのではないかと、いう事も頭には入れております。この近隣ではさぬき市の状況を見てみますと、議員数規模とか本市とよく類似している市と思いますが、それを見ると特別職の減額率についても5、4、3%ですか、ここら辺りが一つの参考の材料になるのではないかと思います。以上です。</p>
会長	<p>皆様方からご意見を伺った訳ですけれども、減額をお願いしたいという事で、率についてもご意見を伺いましたが、殆どの方が市長5%、副市長4%、教育長3%の減額が良いのではないかと、このように取り纏めして宜しいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜委員了承＞</p> <p>では、そのようにいたします。</p> <p>それでは、議員報酬額ですけれども、議員報酬について、簡単で構いませんので、三役が5%、4%、3%減額で纏まった事を踏まえて委員順番にご発言願います。</p>

委員	先程も意見がありましたが、3%の減額が一番妥当な線だと思いますけど。
委員	私もそう思います。
委員	私は自主減額でパーセントを付けるのもどうかと思うのですが、先程も話が出ておりますよう、ある程度の自主減額を希望すると言っても何パーセントをという話になってくると思いますので、最低限3%の減額を。
委員	私も自主減額が望ましいとは思いますが、これは難しいようなので、3%の減額でお願いしたいと思います。
委員	皆さんが仰ったよう、右に倣いで3%減額としていただきたいと思います。
委員	私は最低5%の減額をお願いできたらと思います。
委員	私も同じで5%の減額を。
委員	やっぱり自主減額というのをしていただきたいのが本当はやまやまなのですが、政務調査費のカットがあるので、そこら辺りも勘案して、3%カットは少し高いような気がします。もう少し、つけるのであれば1%ぐらい程度の率で良いような気がします。
会長	ただ今、皆様からご意見を伺いましたが、皆さんの中で意見が少し割れております。ちょっと纏めにくいというか、1%から5%までで分かれていますけど。 これはですね、皆さんの意見は出揃いましたので、本審議会で集約された意見に基づき、事務局でまず纏めていただきますが、事務局側では率決定については関与できないという事で、規則により表決で率を決定したいと思います。 では、3%減額に賛成の方は挙手をお願いします。 ＜委員過半数以上の挙手有り＞
会長	5名という事で。もう後はお伺いしなくても良いという事になりますが、そういう事で議員報酬額については3%減額という意見としたいと思います。
委員	審議会としてはそのような結論で出しておいて、議会は議会でもた高松市みたいに異議を唱えるといった事にもなるかも知れないが、審議会の意見として出すのは差し支えないと思う。
会長	分かりました。
7. その他	
会長	前回色々審議し、委員におかれましてはその後資料等を予習復習なされて本日は本当にスムーズに会を進める事ができました。 これで本審議会での審議事項について意見も纏まりました。



	<p>答申につきましては、本審議会で集約された意見に基づいて、事務局で纏め、私も含め、委員全員の方に確認いただいたうえ、答申書提出を考えていますが、宜しいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p style="text-align: center;">＜委員了承＞</p> <p>はい、ありがとうございます。 では事務局より何か連絡事項はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。確認をさせていただけたらと思います。ただ今会長さんの進行のもと、市長から諮問させていただきました内容について、色々ご審議いただきました。この答申意見を踏まえまして、答申素案文書を作成させていただきまして、本審議会議事録とともに委員皆様方へ内容等を確認していただきまして、了解いただきましたら、後日会長から市長へ答申書を提出していただくという流れでお願いできたらと思います。宜しくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは皆様、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございました。 委員皆様方より忌憚なき意見をいただき、早々と意見が纏まった事、お礼を申し上げます。 以上で三豊市特別職報酬等審議会を終了します。ありがとうございました。 (終了)</p> <p style="text-align: center;">＜午後 2 時 25 分閉会＞</p>